

第3学年社会科学習指導案

日時 平成28年9月24日(土) 第3校時
 児童 ○○市立○○中学校 3年△組 □□名
 場所 3年△組教室
 授業者 渡部琴絵

- 1、単元名 第4章「私たちの暮らしと経済」(東京書籍 pp.117-166)
 第1節「消費生活と経済」(東京書籍 pp.117-127)

2、単元目標と評価

(1) 目標

消費生活について関心を持ち、経済活動について多面的・多角的に考えようとする。また、身近な消費生活をもとに経済活動の意義を理解し、消費者としてどのように行動していくのかを考えることができるようにする。

(2) 評価規準

ア 関心・意欲・態度	イ 思考・判断・表現	ウ 観察・資料活用	エ 知識・理解
○消費生活に関する学習に関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。 ○消費生活に関する学習を通して、経済活動に関心を持ち、経済活動に関わる選択などについて考えようとしている。 ○よりよい消費生活のために、消費者としてどのように経済活動に関わっていくのか考えようとしている。	○消費生活についての身近で具体的な事例を通して、消費者や生産者などさまざまな立場から多面的・多角的に考え、公正に判断している。 ○消費生活についての考えをわかりやすくノートや、ワークシートに表現している。	○消費生活について、さまざまな情報や手段を適切に活用している。 ○自分の考えをまとめたり、わかりやすく発言や発表を行ったりしている。	○身近な消費生活を通して、家計、消費者問題、消費者の権利、流通といったしくみについての知識を身につけている。 ○経済活動と生活にかかわりがあることに気づき、暮らしを豊かにするという経済活動の意義を理解している。

3、単元について

本単元は、中学校学習指導要領の以下の内容と関連している。

「内容（２）ア 市場の働きと経済」

身近な消費生活を中心に経済活動の意義を理解させるとともに、価格の働きに着目させて市場経済の基本的な考え方について理解させる。また、現代の生産や金融などの仕組みや働きを理解させるとともに、社会における企業の役割と責任について考えさせる。その際、社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について、勤労の権利と義務、労働組合の意義及び労働基準法の問題と関連付けて考えさせる。

本単元においては、「身近な消費生活を中心に経済活動の意義を理解させる」という部分を中心に扱う。ここでは、財とサービスや家計などに基づく身近な「消費生活」、「消費者の権利」、「消費者問題」、「流通の働き」などを学習事項として設定する。このような事項を学習した上で、経済活動の中でどのように選択を行うべきか、消費者問題に対してどのように消費者の権利を保障するかということを考えられるようにする。そして、よりよい消費生活を営むためには、消費者としてどのように行動すればよいのかということに自分なりの考えを持ち、それを実践できるような態度を育てる。家計や消費者の視点で考えることで、生産と消費という活動を通じて、暮らしを豊かにする仕組みである「経済」について理解できるようにする。

系統性について述べる。生徒は、小学校3・4年生で地域の人々の生産や販売について調べ、それらの仕事に携わっている人々の工夫や努力を考える学習を行っている。また、5年生では、農業や水産業について調べ、食料生産に従事している人々の工夫や努力、生産地と消費地を結ぶ運輸の働きについて学習している。さらに、中学校公民的分野においては、現代社会における公正の考え方や日本国憲法の基本的人権の尊重、民主主義における国民主権などについて学習してきた。これまでに学習したことを生かし、社会権や公正の視点で消費者主権などについての考えを深められるようにする。また、これまでの学習で大まかに社会を捉えてきたことを生かし、より身近な問題に対して消費者としてどのように行動し、かかわっていくのかについても考えさせる。さらに、本単元で身近で具体的な家計や消費生活について先に学ぶことで、これから扱う資本主義や市場経済、財政などの抽象的な内容も理解しやすくなるのではないかと考える。そして、本単元でより良い暮らしのために何ができるのかを考えたことや地理的分野・歴史的分野で学んだことを生かして、これまで小学校や中学校における社会科のまとめにも生かしていく。

生徒は、「経済」という用語は知っているが、「経済」が何かということを説明できる生徒は少ないと思われる。しかし、抽象的な考え方もできるような発達段階であるので、具体的なことと結び付けて考えさせるようにする。そのためには、コンビニエンスストアの立地について考えさせるなどの具体例をもとに自分で考え、班や学級で意見を共有するという活動を多く取り入れるようにしたい。生産と消費、消費者と販売者の関係、流通の経路などは、口頭での説明だけでなく、図や絵を用いて説明するというも行いたい。また、生徒は実生活の中でコンビニやスーパーなどに買い物にいたり、必要なものをネットショッピングなどで購入したりした経験は少なからずあると考える。そのため、そのような場面を想像させながら、多角的・多面的に理解させるような発問をする。また、そうすることで今後の生活の仕方や、消費者としてどのように行動するのかまで考えられるようにする。

4、指導計画（5時間扱い）

次	時数	主な学習活動	各時間の評価規準
1	1 本 時	<p>○コンビニエンスストアの経営者になってみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンビニエンスストアをどこに開店するのか、どんな商品に力をいれるのか資料をもとに考える。 ・グループで意見について話し合い、発表する。 	<p>ア コンビニエンスストアの立地について考えるシミュレーションを通して、経済についての関心や学習の見通しを持っている。</p> <p>イ コンビニエンスの立地について経営者や生産者の立場から多角的・多面的に考えている。</p> <p>ウ 資料を適切に活用し、自分の考えをわかりやすくまとめている。</p>
2	2	<p>○私たちの消費生活</p> <ul style="list-style-type: none"> ・財とサービスについて理解する。 ・家計でのお金の使い道について考え、話し合う。 ・クレジットカードの良い点と気を付けなければいけない点について考え、話し合う。 	<p>イ 家計でのお金の使い道について考え、どのように行動していけばいいのか判断し、表現している。</p> <p>エ 財やサービス、家計、クレジットカードの留意点について理解している。</p>
	3	<p>○契約と消費生活</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体例をもとに契約を解消することができるのかについて考え、発表する。 ・最近の消費者問題について知り、消費者主権、消費者の権利の保障の大切さに気づく。 	<p>イ 自分の考えをわかりやすく表現している。</p> <p>エ 消費生活は契約によって成り立つこと、消費者の権利を保障することの大切さを理解している。</p>
	4	<p>○消費者の権利を守るために</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費者の権利を確認する。 ・これまでの消費者問題について知り、それに対する法律などの対応を知る。 ・これから、消費者問題に巻き込まれないためにどうするか、巻き込まれてしまったらどうするか考え、話し合う。 	<p>ア 消費者としてどのように行動し、経済にかかわっていけばよいか考えようとしている。</p> <p>エ 消費者として権利とともに、責任があるということに気づいている。</p>
	5	<p>○消費生活を支える流通</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商品が消費者に届くまでの流れについて理解する。 ・卸売業者や小売業者が流通の合理化を図るために、工夫していることについて考え、発表する。 	<p>イ 流通の役割や流通の合理化について様々な立場から多角的・多角的に考えている。</p> <p>エ 流通のしくみについて知り、流通が消費生活を支えていることを理解している。</p>

5、本時の学習（1／5時間目）

（1）目標

- ・経済について関心を持ち、経営者や消費者の立場に立って、コンビニエンスストアの立地について考える。
- ・資料をもとに自分の意見を考え、わかりやすく表現する。

（2）評価規準

- ・コンビニエンスストアの立地や商品について考えるシミュレーションを通して、経済についての関心や学習の見通しを持っている。（ア 関心・意欲・態度）
- ・コンビニエンスの立地について経営者や生産者の立場から多角的・多面的に考えている。（イ 思考・判断・表現）
- ・資料を適切に活用し、自分の考えをわかりやすくまとめている。（ウ 観察・資料活用）

（3）準備

教師：教科書、ワークシート、教科書を拡大した図

生徒：教科書、ノート

（4）展開

過程 (時配)	教師の指導	児童の活動	☆指導上の留意点 ★評価
事象提示・課題把握 7	<p>○コンビニエンスストアに関する経験を考えさせる。</p> <p>「154億6342万人、何の数字だと思いますか？」</p> <p>「コンビニに1年間で来客する人の人数です。」</p> <p>「みんなはコンビニにはよく行きますか？」</p> <p>「なぜ、そのコンビニに行きますか。」</p> <p>「コンビニを経営するには、みんなのような消費者の気持ちや必要としていることを考えるということはとても大切な</p>	<p>○コンビニエンスストアに関する経験を考える。</p> <p>・近いから</p> <p>・ほしいものがあるから</p> <p>・いつでもやっているから</p> <p>・便利だから</p>	<p>☆生徒の生活経験を思い出させるようにする。</p>

	ようですね。」		
	<p>課題：お客さんに来てもらうためには、コンビニをどこに開店してどんな商品を買えばよいのか考えよう。</p>		
予想・調べ	<p>○コンビニの立地について考える。</p> <p>「では、ワークシートの①どこに開店するかについて、まずは自分で考えてみてください。」</p>	<p>○立地について自分の考えを持つ。</p> <p>A: 駅前なので電車などを利用する人が多く来店すると思うから。いろいろな年齢の人が来てくれる。</p> <p>B: サラリーマンなどが昼食を買いに来てくれると思うから。</p> <p>C: 住宅街なので、家族連れで買い物に利用してくれると思うから。</p> <p>D: 大通りで交通量が多く、車で来る人がたくさんいると思うから。</p> <p>E: 野球場やサッカー場などを利用する人が来てくれそうだから。</p>	<p>☆資料をもとに、どんな施設があるか、交通はどうかを踏まえて考えるように声かけを行う。</p> <p>☆正解はないので、難しく考えないように自分の意見を書けるように声かけをする。</p> <p>☆机間指導を行い、意見が書けていない生徒には声かけを行う。</p> <p>★資料を適切に活用し、自分の考えをわかりやすくまとめている。(ウ 観察・資料活用)</p>
35	<p>「正解はありません。自分の考えを資料をもとに、消費者の立場に立って、考えてみましょう。」</p> <p>「そこに来るお客さんの年齢や曜日なども考えられるとよいですね。」</p>		
	<p>○立地や商品について班で話し合う。</p> <p>「では、話し合いの手順を説明します。全員が発表できるように、司会者を一人決めてから全員が発表できるように進行してください。全員が話したら、どこに開店するか、班で結論を出します。そのうえで、ワークシートの②の商品を話し合っ決めてみましょう。最後に、班ごとに発表してもらいます。今日</p>	<p>○立地についての意見を深め、どんな商品に力を入れるか話し合う。</p> <p>A: 駅前でいろいろな人が来ると思うので、ソフトドリンクなどの加工食品。</p> <p>B: サラリーマンが多いと思うので、お昼に食べられるようなファストフード。</p> <p>C: 家族連れが多いと思うので、牛乳などの日配品。</p>	<p>☆全員が参加できるようにするために、班の中で一人司会者を決めてから話し合いを行う。</p> <p>☆話し合いの手順について確認する。</p> <p>☆</p>

	<p>発表する人は、班の給食係です。」</p> <p>「理由も考えるようにしましょう。では、意見交換をしてみましょう。」</p> <p>「商品については、資料のグラフから具体的にこの商品と思い浮かぶものがあれば書いてみてください。」</p>	<p>D:大通りで車で来る人が多いと思うので、日配品。</p> <p>E:運動する人が多いと思うので、タオルや靴下などの食品以外。</p>	<p>☆商品も資料や経験をもとに考えるように声かけを行う。</p> <p>☆机間指導を行い、話し合いが進んでいない班には声をかける。</p> <p>★コンビニエンスの立地について経営者や生産者の立場から多角的・多面的に考えている。(イ 思考・判断・表現)</p>
	<p>○班の意見を発表させる。</p> <p>「では、発表してもらいます。必要なことがあれば、適宜メモを取るなどしましょう。」</p> <p>「発表してくれたことで、何か質問がある人はいますか。」</p>	<p>○自分の班の意見を発表するとともに、他の人の意見も聞く。</p> <p>○わからないことは質問する。</p>	<p>☆適宜メモを取るように声をかける。</p> <p>☆生徒の意見を板書する。</p> <p>★コンビニエンスストアの立地や商品について考えるシミュレーションを通して、経済についての関心や学習の見通しを持っている。(ア 関心・意欲・態度)</p>
<p>まとめ</p> <p>8</p>	<p>○自分の案の見直しを行い、学習のまとめを行わせる。</p> <p>「班の人やみんなの意見を聞いて自分の意見で変えたほうがいいところ、よかったところなどを見直してみましょう。また、今日の授業で学んだこと、感じたことをワークシートに書いてください。」</p>	<p>○自分の案を見直し、学習のまとめを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の人の意見を聞いて、参考にしたいと思った。 ・経営者や消費者の立場になって考えてみると、いろいろなことがわかった。 ・お客さんが来るためには立地だけでなく、商品も考えなくてはいけないことがわかった。 	<p>☆自分の言葉でまとめを行うようにする。</p>

<p>○次回の授業の予告を行う。 「今日は、コンビニの経営者としてお客さんのことも考えながらいろいろ考えてもらいました。実は、これから学習していく経済では、今日のように経営者と消費者といったように、さまざまな立場の人の視点で考えることはとても大切なことです。みんなは、消費者としてこれからどのように行動していけばよいのかについても考えていけるようにしましょう。」</p>	<p>・ 普段使っているコンビニもいろいろ考えて経営されているということがわかった。</p>	<p>☆今回の学習を通して、これから学ぶ経済についての見通しが持てるようにまとめをする。</p>
---	--	--

(5) 板書計画

コンビニエンスストアの経営者になってみよう。

課題: お客さんに来てもらうためには、コンビニをどこに開店してどんな商品を売ればよいのか考えよう。

教科書の図

- ・ B→
商品→
- ・ C→
商品→
- ・ D→
商品→
- ・ E→
商品→

班の意見

- ・ A→
商品→

(6) 資料 ワークシート

コンビニエンスストアの経営者になってみよう

年 組名前 _____

課題：

- ① A から E のうちどこに開店するか決めよう。なぜ、そこにしたのか理由も書こう。

立地： _____

理由

- ② **話し合い**意見を出し合って、どこに開店するかを決めよう。そのコンビニでは売り上げを伸ばすために、どんな商品に力を入れるか理由も含めて考えよう。

立地： _____

理由

商品： _____

理由

話し合い・発表メモ

③ 自分の案の見直し、学習のまとめ

資料1

立地に関する資料 (ワークシート①・②)

A：駅前のビルの1階にある。駐車場は設けられない。

B：オフィス街の一角で、駅から徒歩5分の4階建てのオフィスビルの1階にある。駐車場は設けられない。

C：住宅地の中に位置し、付近には幼稚園、小学校、総合病院がある。駐車場を設けられる。

D：交通量の多い国道に面している。同じ国道沿いの付近には、工場や大型ショッピングセンター、ファミリーレストラン、ガソリンスタンドがある。広い駐車場を設けられる。

E：駅から徒歩10分ほどのところにあり、付近には野球場やサッカー場、多目的ホールがある。駐車場を設けられる。

資料2 (ワークシート②)

コンビニエンスストアに関する資料